

## 食材価格高騰への対応

### 1. 現 状

- ・社会情勢の影響等により食材価格が高騰する中、児童生徒にとって必要な栄養量を満たし、適切に給食提供を行っていくため、2024年4月に1食当たりの給食提供単価を設定した。
- ・保護者負担額は据え置き、給食提供単価との差額は公費で負担している。

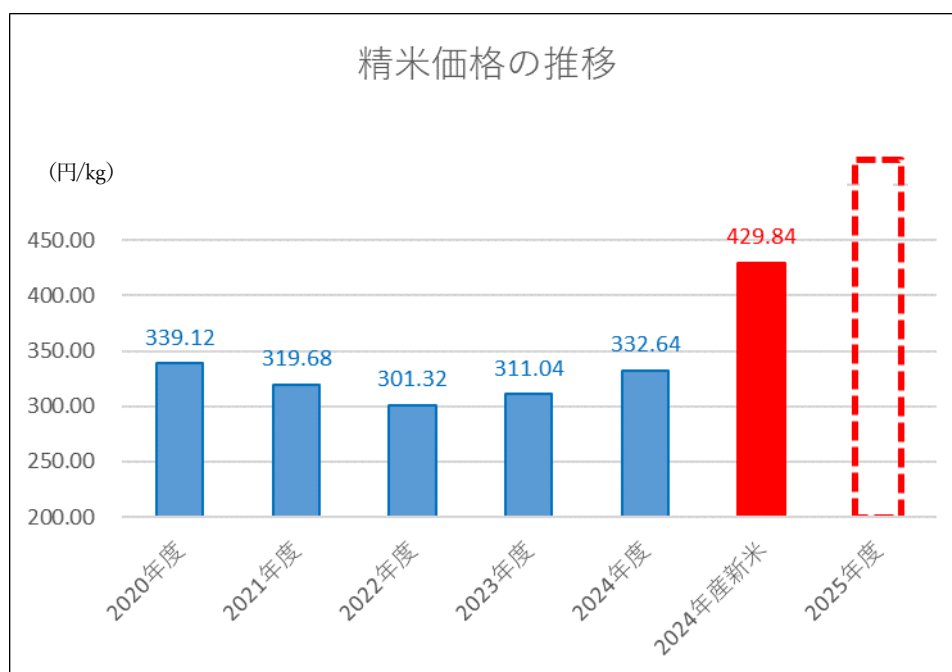
#### 【参考】2024年度の1食あたりの給食費

	給食提供単価	保護者負担額	公費負担額(高騰分)
小・特支学校	310円	260円	50円
中学校	372円	170円(半額助成あり)	32円

### 2. 食材価格の推移

#### (1) 精米

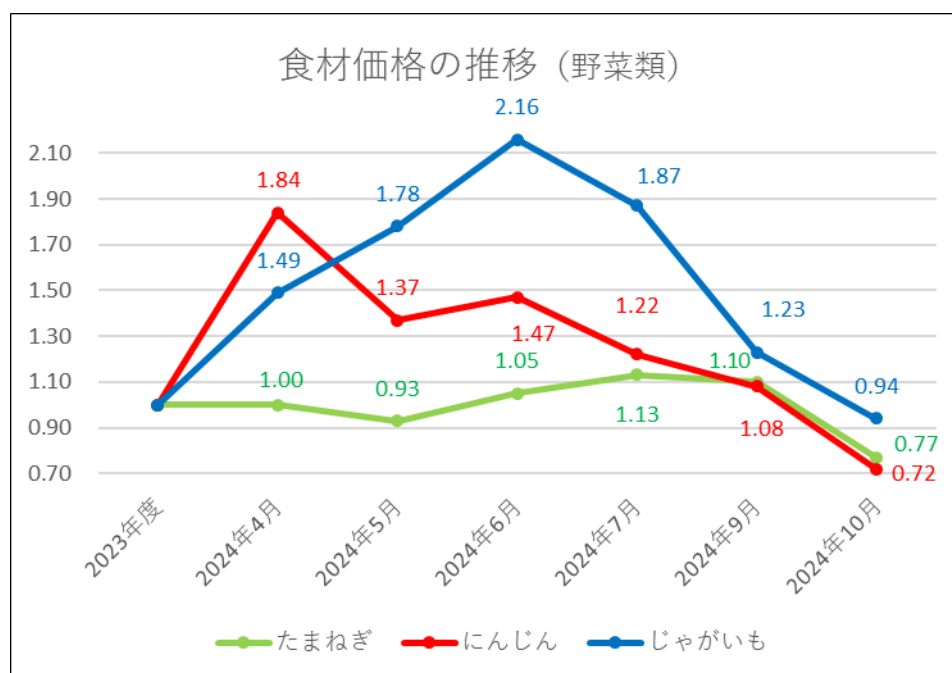
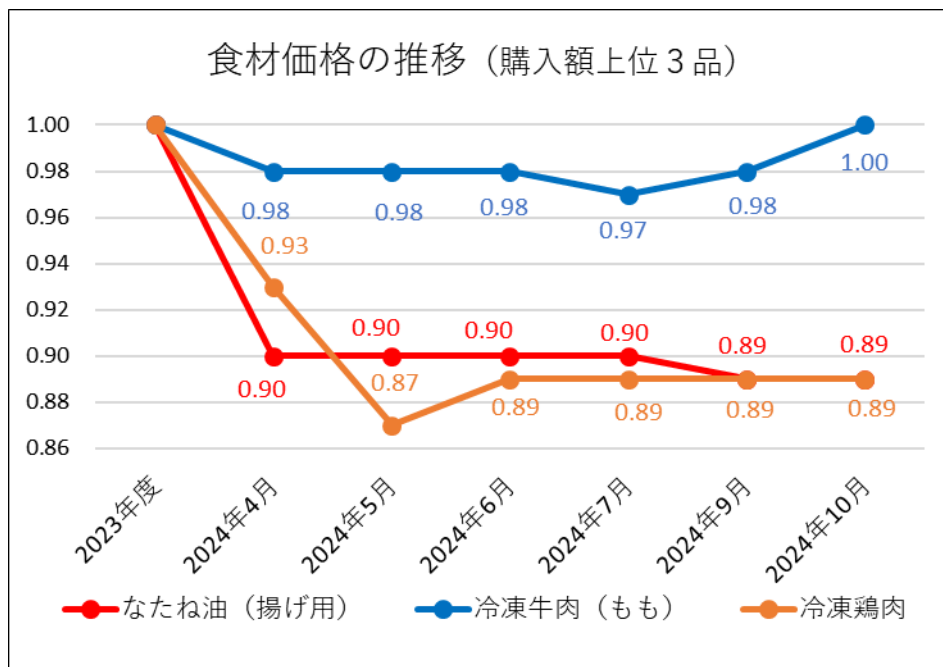
- ・コロナ禍における米の需要減少により下落していた精米価格は、1kgあたり年10～20円程度で上昇してきた。
- ・学校給食における精米価格は、新米供給開始時点(12～2月頃)と4月時点で改定があり、今年度については2024年産の新米価格が約30%の上昇となっている。
- ・農林水産省の発表によると、2024年産米の10月の全銘柄の平均価格(相対取引価格)が前年同月より約57%高くなっており、全国的に精米価格が高騰している状況となっている。
- ・本市の給食用精米の2025年4月以降の価格についても、市場価格に連動した値上げが予想される。



## (2)副食食材

・給食での取り扱いが多い 20 品目の購入単価について、2023 年度平均と比較して、概ね同水準となっている。

【個別品目の価格推移】※2023 年度の平均単価を1として算出



## 3. 課題

・今年度については、新たに設定した給食提供単価で適切な給食を提供できているが、精米価格の高騰が顕著となっており、来年度の給食提供単価について検討が必要な状況となっている。

[参考①]給食提供単価(1食単価)の改定の推移

○小学校

年度	給食提供単価	改定幅	備考
1985	173円	14円	
1992	191円	18円	消費税(1989年~3%)、食材価格上昇等
2000	215円	24円	消費税(1997年~5%)、米穀補助廃止等
2007	233円	18円	食材価格上昇、米飯回数増等
2017	260円	27円	消費税(2014年~8%)、食材価格上昇等
2024	310円 <sup>※1</sup>	50円	食材価格上昇

※1 保護者負担額は据置 260円

○中学校

年度	給食提供		改定幅	備考
	主食+副食	牛乳 <sup>※2</sup>		
~ 2019	244円	56円	300円	-
2020	280円	57円	337円	37円 給食費改定、牛乳選択制導入
2021	280円	58円	338円	1円 牛乳価格の変動
2022	280円	60円	340円	2円 牛乳価格の変動
2024	300円	72円	372円 <sup>※4</sup>	32円 食材価格上昇、牛乳価格の変動

※2 中学校の牛乳費は、学校給食費負担額を勘案して年度ごとに決定

※3 2020年度からは半額助成を実施しているため、保護者負担は上記表の1/2の金額

※4 保護者負担額は据置 170円

[参考②]本市の学校給食における食材高騰対策

・高騰する食材費の増額分を公費負担することで、保護者から給食費を追加徴収することなく、栄養バランスのとれた学校給食を提供している。

2022年度 607,584千円(補正予算)

2023年度 806,790千円(当初予算・補正予算)

2024年度 787,247千円(当初予算)

[参考③]給食費1食単価の他都市の状況(2024年度)

	政令指定都市平均	県内都市平均
小学校	299円(270円~343円)	277円(258円~310円)
中学校(牛乳を含む)	359円(330円~402円)	322円(305円~372円)

※県内都市は近隣12市の平均